

〔緑化植物の品種同定と呼称の整理〕（受託研究）

マサキの品種同定

佐藤澄仁・長嶋大貴・中村圭亨^{*1}・遠藤直弥^{*2}

川原田邦彦^{*3}・吉澤信行^{*3}・尾上信行^{*3}・山崎隆雄^{*3}・新倉健治^{*3}・大平政喜^{*3}

（緑化森林科・^{*3}日本植木協会）^{*1}現研究企画室・^{*2}現中央普セ

【要 約】 ナカフキンマサキ，ギンマサキ，キンマサキ，オウゴンマサキ，オオサカベッコウマサキ，アオマサキの品種同定を行い，標準株を選定した。

【目 的】

緑化植物がエンドユーザーに届けられるまでには，消費地流通業者や全国の産地流通業者など多くの流通業者が介在する。一般的には，電話やファックスによる価格や数量の情報が交わされ最終の納品となる。しかし，産地によって植物の呼称が異なるので納品時にトラブルとなることがある。そこで，しばしば問題となるマサキの呼称名の整理を行い，流通上のトラブルの解消を図る。

【方 法】

流通上問題となるベッコウマサキ他5種について，各産地の社園の協力により供試材料の提供を得て，2011年10月5日に株間1m，条間1mで定植した。施肥は基肥として化成肥料（N-P-K=8-8-8）を100g/m²とした。追肥は春肥として化成肥料（N-P-K=8-8-8）を150g/m²毎年施した。品種の同定は，樹木大図説（上原敬二著，有明書房）を基本とした。

【成果の概要】

1. ベッコウマサキは1都5県6社園から6株の提供があり，地元呼称名は3種類であった。ギンマサキは1都5県6社園から6株の提供があり，地元呼称名は1種類であった。キンマサキは1都6県8社園から8株の提供があり，地元呼称名は2種類であった。オウゴンマサキは5県6社園から6株の提供があり，地元呼称名は1種類であった。フィリマサキは1都5県6社園から8株の提供があり，地元呼称名は6種類であった。アオマサキは5県5社園から8株の提供があり，地元呼称名は3種類であった。その他，園芸種の提供があった（表1）。
2. 同定の結果、ベッコウマサキで集められた中には，ナカフキンマサキ，キンマサキ，オオサカベッコウマサキがみられた。ギンマサキでは，ギンマサキ，オオサカベッコウマサキ，マルバマサキフィリがみられた。キンマサキでは，オオサカベッコウマサキ，キンマサキ，ナカフキンマサキ，オウゴンマサキがみられた。オウゴンマサキではキンマサキ，オウゴンマサキ，オオサカベッコウマサキがみられ，フィリマサキではオオサカベッコウマサキ，ギンマサキ，シロフマサキがみられた。アオマサキの中にはマルバマサキ，オオバマサキがみられた（図1）。
3. まとめ：ナカフキンマサキ，ギンマサキ，キンマサキ，オウゴンマサキ，オオサカベッコウマサキ，アオマサキの標準株を選定し，流通上の呼称整理を行った。

表1 マサキ品種同定一覧

品 種 名	提供株数	地 元 通 称 名	提 供 元 数
ベッコウマサキ	6	ベッコウマサキ (4) ^a オオサカベッコウマサキ (1) ウチフマサキ (1)	1 都 5 県 6 社園
ギンマサキ	6	ギンマサキ (6)	1 都 5 県 6 社園
キンマサキ	8	キンマサキ (7) キンマサキ コンパクト (1)	1 都6県 8 社園
オウゴンマサキ	6	オウゴンマサキ (6)	5 県 6 社園
ファイリマサキ	8	ファイリマサキ (2) 黄覆輪マサキ (2) 白覆輪、黄覆輪、白斑 キンマサキ (1)	1 都 5 県 6 社園
アオマサキ	8	アオマサキ (6) クロマサキ (1) マルバマサキ (1)	5 県 5 社園
その他	7	-	-

a) () は提供元の通称名の株数を示す。



* () は呼称名の中に含まれていた同定後の品種株数

図1 マサキの品種同定及び標準株の選定